



防災通信



全戸配布

2024年9月号
和合町自主防災隊

和合町では災害時の避難の方法が変わります！！

令和6年度和合町防災計画書が8月1日付けで発行されました。今回の計画書では、来るべき南海トラフ地震に備え、より現実的に即した対策を行うべく改定を行いました。

避難の方法

これまで… 第一次緊急避難場所に集まり、みんなで一斉に第二次緊急避難場所を経由して、部単位で泉小学校まで避難していたが、避難所への収容人数等を考えても問題。

これから… 自宅が大丈夫な場合は自宅避難を行う。自宅避難が困難な時は第一次緊急避難場所を経由し各自で泉小学校に分散避難
※第一次緊急避難場所では組長、組長補佐、避難誘導班長、救護班長が皆さんを支援（避難するかどうかは、自分で判断する。）

防災体制について

これまで… 泉小学校に設置する災害対策本部を中心として支援体制をとっていたが、町域が広く、本部からの各部の状況の把握、支援が難しいという課題があった。

これから… 各部の防災倉庫に部隊を立ち上げ、泉小学校に設置した防災対策本部と連絡を取りながら部ごとの支援活動を行う体制とします。
今後各部防災倉庫の資機材、食料品の備蓄等を計画的に充実させます。

安否確認について

これまで… 一斉避難をした人の人数を各部隊で把握することが、発災直後の安否確認の方法であり、けが人、要支援者の安否確認方法が現実的でないという問題点。

これから… 大きな地震がおこった時、無事を知らせる黄色いタオルを玄関先に出してもらいます。こうすることで、安否確認をスムーズに行うことができ、よりたくさんの方の命を救えることになります。



※安否確認用黄色いタオルは、自主防災隊から配布いたします。（10月頃）

令和6年度防災計画書はホームページからもご覧になれます。

自主防災隊員の方には配布済み。それ以外の方で必要な方は自治会までご連絡ください。

筆耕：防災コーディネーター 松山 美佐